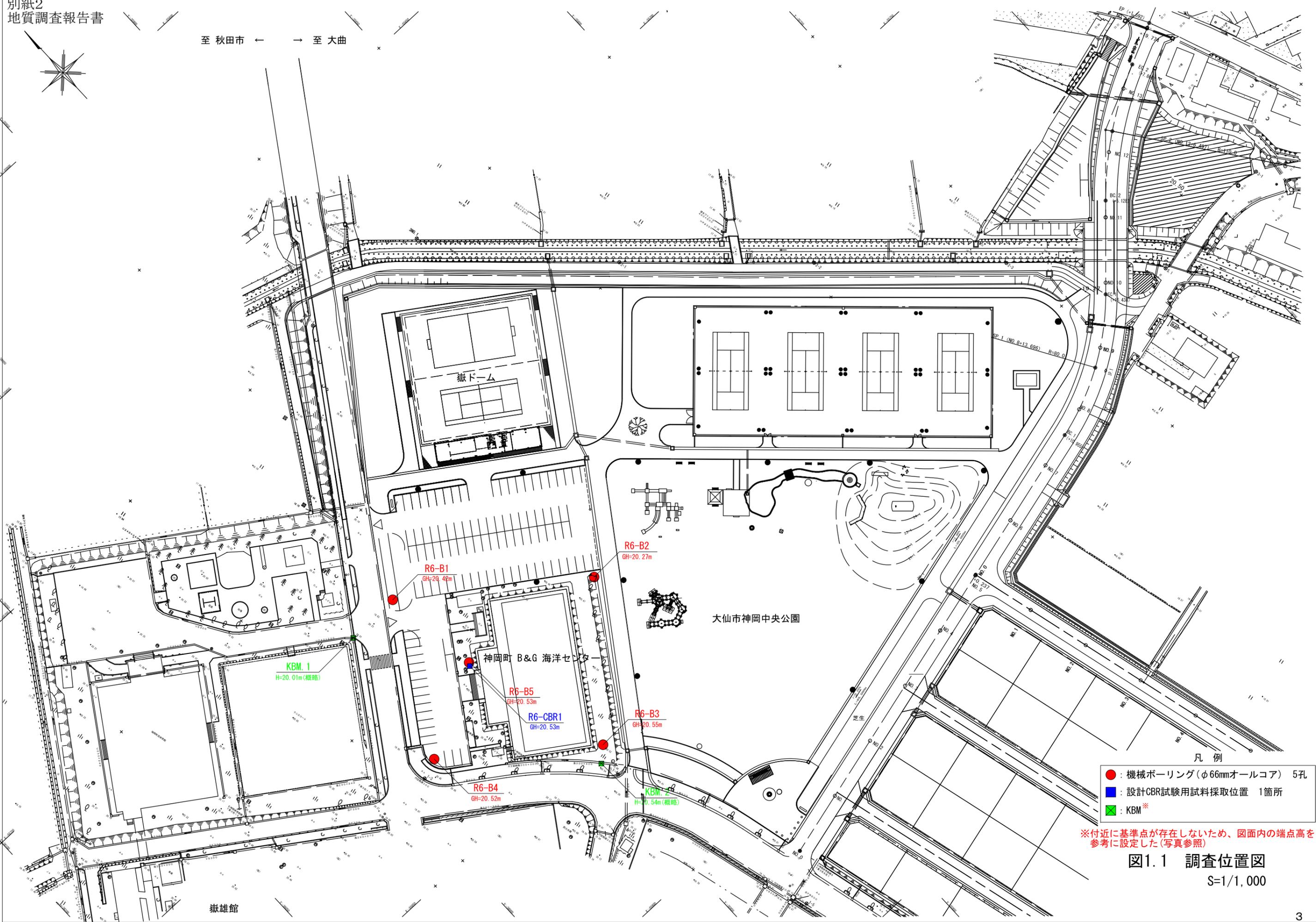


至 秋田市 ←      → 至 大曲



- 凡例
- : 機械ボーリング(φ66mmオールコア) 5孔
  - : 設計CBR試験用試料採取位置 1箇所
  - : KBM※

※付近に基準点が存在しないため、図面内の端点高を参考に設定した(写真参照)

図1.1 調査位置図  
S=1/1,000

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 (こ政1001)屋内遊び場施設整備地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	R6-B1	調査位置	秋田県大仙市神宮寺字中瀬古川敷 地内	北緯	39° 29' 49"
発注機関	秋田県大仙市	調査期間	2024年 8月 19日 ~ 2024年 8月 27日	東経	140° 24' 55"
調査業者名	株式会社自然科学調査事務所 電話 0187-63-3424	主任技師	赤川 重伸 地質調査技師 登録番号: 第21141号	現場代理人	柳田 雄亮 地質調査技師 登録番号: 第23606号
コア鑑定者	柳田 雄亮 地質調査技師 登録番号: 第23606号	ボーリング責任者	宮田 勝 地質調査技師 登録番号:	試験機	東邦 D-1
孔口標高	T. P. 20.42m	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	使用機種	東邦 D-1
総削孔長	21.09m	角度	鉛直 90° 水平 0°	エンジン	ヤンマー NFD-12
				ポンプ	東邦 BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日			
												深度 - N値図			深度 (m)	100mmごとの打撃回数				打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	19.62	0.80	盛土(礫質土)	盛土(礫質土)	暗灰~灰					盛土と想定。碎石を主体とする。表層5cmはアスファルト。	08/20 2 (8.8)	1.15	2	2	1	5	300					
2	17.77	2.65	盛土(礫混じり粘土)	盛土(礫混じり粘土)	暗黄灰・黄灰		中位			礫混じり粘土を主体とする。φ5~10(最大70)mm程度の礫が混じる。部分的にφ5~10mm程度の岩片礫が混じる。含水比は中位~高い。粘性は中位。		2.15	1	1	2	4	300					
3	17.52	2.90	シルト	シルト	黒~青灰					上部10cmは有機質。下部に植物根が混じる。含水比は中位。粘性は中位。		3.15	2	3	2	7	300					
4	16.42	4.00	細砂	細砂	青灰	rd2				概ね均質。含水比はやや高い。		4.15	3	3	4	10	300					
5	15.02	5.40	中砂	中砂	青灰	rd3				概ね均質。深度4.65~4.70m間、ブロック状に固結した粘土を挟む。		5.15	5	6	7	18	300					
6												6.15	7	8	15	30	300					
7												7.15	10	10	11	31	300					
8												8.15	12	15	12	39	300					
9												9.15	20	23	7	50	230	230				
10												10.15	18	23	9	50	230	230				
11						褐・褐灰・赤褐・黄褐						11.15	14	13	21	48	300					
12							中位~非に密			φ10~50(最大60)mm程度の垂円~垂角礫を主体とする。マトリックスは砂および細粒分。深度10.5~11.7m間、細砂が多く混じる。深度15.5m以深、細粒分が多く混じる。深度16.5m以深、細粒分がやや固結する。		12.15	19	22	9	50	270	270				
13												13.15	38	12	50	130	130					
14												14.15	11	18	21	50	300					
15												15.15	19	22	9	50	250	250				
16												16.15	14	17	17	48	300					
17												17.15	14	20	11	45	300					
18	2.22	18.20										18.15	13	22	15	50	230	230				
19												19.05	50		50	100	100					
20						暗褐		固結した		コアは主に棒状または片状で採取される。自立つ大きな亀裂等は見られない。コアはハンマーの軽打で割れる硬さ。		20.00	45	5	50	110	110					
21	-0.67	21.09										21.00	50		50	90	90					

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 (こ政1001)屋内遊び場施設整備地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	R6-B2	調査位置	秋田県大仙市神宮寺字中瀬古川敷 地内			北緯	39° 29' 48"									
発注機関	秋田県大仙市			調査期間	2024年 8月 29日 ~ 2024年 9月 4日		東経	140° 24' 57"								
調査業者名	株式会社自然科学調査事務所 電話 0187-63-3424		主任技師	赤川 重伸 地質調査技士 登録番号: 第21141号	現場代理人	柳田 雄亮 地質調査技士 登録番号: 第23606号	コア鑑定者	柳田 雄亮 地質調査技士 登録番号: 第23606号	ボーリング責任者	菊地 光貴 地質調査技士 登録番号: 第23119号						
孔口標高	T. P. 20.27m	角	180° 上下 90°		方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°		使用機種	東邦 D-0				
総削孔長	20.17m	度	0°		方位			地盤勾配			エンジン	ヤンマー TF-90M		ポンプ	東邦 BG-4L	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日			
												深度 - N値図		N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数				50回の貫入量	自沈時の貫入量 (m)	試験番号
1	18.47	1.80	盛土(礫混じりシルト)		褐・灰褐・黄灰			中位	盛土と想定する。礫混じりシルトを主体とする。φ2~30mm程度の円~亜角礫が混じる。深度0.6~1.0m間および深度1.6~1.8m間に岩片を含む。下部に若干の植物根が混じる。	08/30	7	1.15	2			3	2	7	300			
2	18.17	2.10	砂質シルト		暗灰				概ね均質。		8	2.15	3	2	3	8	300					8/29
3	16.87	3.40	細砂		褐	rd2			概ね均質。深度2.90m付近、少量のシルトが混じる。		6	3.15	1	2	3	6	300					
4											10	4.15	3	4	3	10	300					
5											32	5.15	7	12	13	32	300					
6											36	6.15	11	11	14	36	300					
7											71	7.15	21	25	4	50	210					8/30
8											44	8.15	16	15	13	44	300					
9											41	9.15	16	11	14	41	300					
10											94	10.15	32	18	60	50	160	160				
11											36	11.15	10	11	15	36	300					
12											60	12.15	19	19	12	50	250	250				9/2
13											60	13.15	22	17	11	50	250	250				
14											46	14.15	17	12	17	46	300					
15											37	15.15	11	13	13	37	300					
16											31	16.15	10	10	11	31	300					
17											52	17.15	14	15	21	50	290	290				
18											39	18.15	14	13	12	39	300					9/3
19	1.37	18.90									188	19.05	50	80	50	80	80	80				
20	0.10	20.17	シルト岩		青灰~暗褐			固結した	コアは概ね棒状で採取される。目立つ亀裂等は見られない。コアはハンマーの軽打で割れる硬さ。		125	20.05	33	17	20	50	120	120				9/4



# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 (こ政1001)屋内遊び場施設整備地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	R6-B4	調査位置	秋田県大仙市神宮寺字中瀬古川敷 地内			北緯	39° 29' 47"				
発注機関	秋田県大仙市			調査期間	2024年 8月 28日 ~ 2024年 9月 4日			東経	140° 24' 54"		
調査業者名	株式会社自然科学調査事務所 電話 0187-63-3424		主任技師	赤川 重伸 地質調査技士 登録番号: 第21141号	現場代理人	柳田 雄亮 地質調査技士 登録番号: 第23606号	コア鑑定者	柳田 雄亮 地質調査技士 登録番号: 第23606号	ボーリング責任者	宮田 勝 地質調査技士 登録番号:	
孔口標高	T. P. 20.52m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	使用機種	東邦 D-1		
総削孔長	19.30m	エンジン	ヤンマー NFD-12			ポンプ	東邦 BG-3C				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記号	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日		
												N	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深
1	19.07	1.45	盛土(礫質土)	盛土(礫質土)		褐灰	rd2			盛土と想定する。碎石を主体とする。表層5cmはアスファルト。	09/09 3.08	2	2	1	5	300					8/28
	18.82	1.70	有機質シルト	有機質シルト		黒				φ2~20mm程度の礫が混じる。含水比は中位。粘性は中位。		4	1	1	4	300	B4-P1	○	粒度 (ふるい)		
2	17.72	2.80	砂質シルト	砂質シルト		暗灰 褐		rc2		深度2.25m以深、φ2~20mm程度の円~亜角礫が混じる。含水比は中位。粘性は中位。		12	4	4	12	300	B4-P2	○	粒度 (ふるい)		
3	17.07	3.45	礫混じり中砂	礫混じり中砂		褐		rd3		深度2.8~3.0m間、均質な中砂。深度3.0m以深、φ5~30mm程度の礫が混じる。		12	4	4	12	300	B4-P3	○	粒度 (ふるい)		
4												12	4	4	12	300	B4-P4	○	粒度 (ふるい)		
5												17	7	5	17	300	B4-P5	○	粒度 (ふるい)		
6												12	3	4	12	300	B4-P6	○	粒度 (ふるい)		
7												18	5	6	18	300	B4-P7	○	粒度 (ふるい)	8/29	
8												20	6	6	20	300	B4-P8	○	粒度 (ふるい)		
9												38	10	14	38	300	B4-P9	○	粒度 (ふるい)		
10						褐・灰褐・褐灰		中位 ~非に密		φ5~30(最大70)mm程度の円~亜角礫を主体とする。マトリックスは細中砂および細粒分。部分的に中粗砂が多く混じる。深度8.60m以深、細粒分が多く混じる。深度17.70~18.00m間、粘土分が固結する。		56	19	19	56	270	B4-P10	○	粒度 (ふるい)		
11												50	20	13	50	300	B4-P11	○	粒度 (ふるい)	8/30	
12												71	23	24	71	210	B4-P12	○	粒度 (ふるい)		
13												35	11	9	35	300	B4-P13	○	粒度 (ふるい)		
14												56	13	21	56	270	B4-P14	○	粒度 (ふるい)	9/2	
15												37	13	11	37	300	B4-P15	○	粒度 (ふるい)		
16												33	10	10	33	300	B4-P16	○	粒度 (ふるい)		
17												68	16	20	68	220	B4-P17	○	粒度 (ふるい)		
18	2.27	18.25										94	18	32	94	160	B4-P18	○	粒度 (ふるい)	9/3	
19	1.22	19.30	シルト岩	シルト岩		暗褐		固結した		コアは主に短棒状または片状で採取される。目立つ大きな亀裂等は見られない。コアはハンマーの軽打で割れる硬さ。		100	16	34	100	150	B4-P19	○	粒度 (ふるい)	9/4	

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 (こ政1001)屋内遊び場施設整備地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	R6-B5	調査位置	秋田県大仙市神宮寺字中瀬古川敷 地内	北緯	39° 29' 47"				
発注機関	秋田県大仙市	調査期間	2024年 9月 5日 ~ 2024年 9月 11日	東経	140° 24' 55"				
調査業者名	株式会社自然科学調査事務所 電話 0187-63-3424	主任技師	赤川 重伸 地質調査技士 登録番号: 第21141号	現場代理人	柳田 雄亮 地質調査技士 登録番号: 第23606号	コア鑑定者	柳田 雄亮 地質調査技士 登録番号: 第23606号	ボーリング責任者	菊地 光貴 地質調査技士 登録番号: 第23119号
孔口標高	T. P. 20.53m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	東邦 D-0
総削孔長	20.20m	試験機	東邦 D-0	エンジン	ヤンマー TF-90M	ポンプ	東邦 BG-4L		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日			
												深度 (m)	N	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深さ	試料番号
1	20.03	0.50	盛土(砂礫)	盛土(砂礫)	褐~黄灰褐			中位		盛土と想定する。表層15cmは有機物混じり細砂。		1.15	2	1	2	5	300					
2	18.43	2.10	盛土(礫混じりシルト)	盛土(礫混じりシルト)	黄灰褐					盛土と想定する。φ2~30(最大60mm)程度の礫が混じる。深度0.55~0.65m間、有機質シルトを挟む。細粒分がやや固結する。		2.15	1	1	2	2	300	B5-P1	○	粒度 (ふるい)	9/5	
3	17.88	2.65	砂質シルト	砂質シルト	暗灰			rd1		含水比は中位。粘性は強い。		2.45	150	150	300			B5-P2	○	粒度 (ふるい)		
4	16.53	4.00	細砂	細砂	褐~暗灰			rd2		概ね均質。	09/06 3.40	3.15	3	2	2	7	300	B5-P3	○	粒度 (ふるい)		
5												3.45	9	10	9	28	300	B5-P4	○	粒度 (ふるい)		
6												4.15	8	6	6	20	300	B5-P5	○	粒度 (ふるい)		
7												4.45	8	9	8	25	300	B5-P6	○	粒度 (ふるい)		
8												5.15	7	8	8	23	300	B5-P7	○	粒度 (ふるい)		
9												5.45	14	18	18	90	290	B5-P8	○	粒度 (ふるい)	9/6	
10												5.85	22	19	9	50	250	B5-P9	○	粒度 (ふるい)		
11												6.15	20	21	9	40	240	B5-P10	○	粒度 (ふるい)		
12												6.45	20	20	10	50	260	B5-P11	○	粒度 (ふるい)	9/9	
13												6.85	40	10	10	50	110	B5-P12	○	粒度 (ふるい)		
14												7.15	18	14	11	43	300	B5-P13	○	粒度 (ふるい)		
15												7.45	7	11	12	30	300	B5-P14	○	粒度 (ふるい)		
16												7.85	33	17	60	50	160	B5-P15	○	粒度 (ふるい)		
17												8.15	15	16	14	45	300	B5-P16	○	粒度 (ふるい)	9/10	
18												8.44	25	25	50	200	200	B5-P17	○	粒度 (ふるい)		
19	1.73	18.80										8.85	17	9	14	40	300	B5-P18	○	粒度 (ふるい)		
20	0.33	20.20	シルト岩	シルト岩	暗灰			固結した		コアは主に棒状で採取される。目立つ大きな亀裂等は見られない。コアはハンマーの軽打で割れる硬さ。		9.15	26	24	40	50	140				9/11	
												9.40	27	23	50	150	150					